

一般 スポーツ振興による活気あるまちづくり

坪井 仲治（みどり21）



心と体の両面に影響を与える文化としてのスポーツは菊川市の発展には欠かせないため、その振興について質問した。

❶ 青少年の健全育成の観点から考えた施策はどのようなものがあるか。

❶ 青少年健全育成の視点を持った指導者の養成を踏まえ、スポーツ講座やスポーツ少年団の指導者と保護者を対象とした研修会を行っている。さらに、親子が触れ合う機会の創出を目的とした夏休み親子スポーツ教室を行っている。今後は、多様性や思いやりの心を育む機会として、ボッチャなどのパラスポーツを取り入れたスポーツレクリエーションフェスティバルの充実を図っていく。

❷ 高齢者をターゲットとしたスポーツ振興について、移動手段を含めた施策は。

❶ グラウンドゴルフなどの高齢者を対象としたスポーツ大会



やシニア健康体操教室を実施している。シニア健康体操教室では、参加者の移動の負担が少なくなるよう、中央公民館と2つの地区センターの3会場で開催している。

❸ 堀之内体育館の工事期間中の代替場所は。

❶ 取り壊しから建て替えまで1年半程度を見込んでいる。この間、利用者は、ワクチン接種においても、総合体育館の使用を2年程度停止し、他の市立体育館や小中学校体育館などを利用して頂いているため、今回も同様の対応をして頂く。

一般 行政手続改善への取組について

織部 ひとみ（みどり21）



ポストコロナ社会を見据え、デジタルの力を活用した行政サービスの向上として、市民や事業者が直接来庁する機会を減らし、電子申請システムを活用した行政手続のオンライン化を進める必要があります。マイナンバーカードを活用し窓口の利便性向上を図り、行政窓口の申請書類を簡単に手続きできる「書かない窓口」、行かなくても手続きが完了する「行かない窓口」の開設について伺います。

❶ 行政手続オンライン化で、市民が窓口に行かなくてよくなるようなサービスへの考えは。

❶ 今年度中には子育て・介護等に係る手続きについてマイナンバーカードによるオンライン申請が可能となります。また、その他の業務につきましても汎用性の高い電子申請システムを導入し、全庁的に進めております。

❷ 多くの市民がマイナンバーカードの申請をされているように感じます。マイナポイント還元キャンペーンの前と直近の交付率は。キャンペーン終了後の啓発の取組は。

❶ 令和5年2月末時点で65・7%となり令和2年9月の開始から47・3ポイント上昇しました。今年度は地区センターや商業施設など申請出張受付窓口を開設し、交付率の向上を考えております。

❸ 高齢者や障がい者など、様々な方が窓口での申請書類の記入をしなくてよくなる書かない窓口設置の考えは。

❶ 書かない窓口についてはデジタル庁において調査研究を進めているため、本市においても国の動向を注視し対応を検討します。

他に、「男性用トイレサニタリーボックス設置」について質問しました。

